



お知らせ

**平成24年4月21日(土) 国営備北丘陵公園  
が全園開園(グランドオープン)します。**

国営備北丘陵公園 全園開園の概要

1. 全園開園

昭和57年の事業着手後、平成7年4月にひばの里・中入口センターエリア等80haを開園、その後順次追加開園を行い、現在全体面積の約7割となる229.5haが開園していますが、**最後の未開園区域である「いこいの森」エリア109.3haが、平成24年4月21日(土)に開園し、国営丘陵公園が全園開園(グランドオープン)となります。**

2. 全園開園式典

国営備北丘陵公園の全園開園を記念して、**平成24年4月21日(土)に「国営備北丘陵公園全園開園式」**を開催します。

3. グランドオープン記念イベント

国営備北丘陵公園の全園開園(グランドオープン)を記念して、多くの皆様にお楽しみ頂けるような**「グランドオープン記念イベント」**を開催します。

※**開園式当日(4月21日)は入園料が無料となりますが、式典は関係者のみで行います。**

(但し、駐車料金は必要です。)

※全園開園式及び当日の入園方法並びにグランドオープン記念イベントの詳細は後日お知らせいたします

お 問 い 合 せ

国土交通省 三次河川国道事務所

副所長(公園担当) おおいけ かつのり  
大池 勝則

(担 当) 公園課長 やまぐち かつみ (TEL:0824-72-5000 FAX:0824-72-7532) (国営備北丘陵公園分室)  
山口 克己

(広報担当) 建設専門官 なかい きみお (TEL:0824-63-4121 FAX:0824-64-2240) (代表)  
中井 喜美男

# 1. 国営備北丘陵公園全園開園式

平成24年4月21日（土）、いこいの森エリア109.3haの開園により、本公園が全園開園となることを記念し、以下のとおり全園開園式を開催いたします。

1. 名称：国営備北丘陵公園全園開園式
2. 日時：平成24年4月21日（土）  
受付開始 9時30分  
式典開始 10時00分
3. 式典場所：広島県庄原市三日市町4-10  
国営備北丘陵公園 北入口センターエリア
4. 主催：中国地方整備局
5. 式典次第：
  - 一、開式
  - 一、挨拶
  - 一、来賓祝辞
  - 一、来賓紹介
  - 一、祝電披露
  - 一、お礼のことば
  - 一、万歳三唱
  - 一、閉式
6. 祝賀行事 くす玉開披  
小学生による風船とばし
7. 祝賀イベント 和太鼓演奏ほか
8. 会場位置図



※開園式当日（4月21日）は入園料が無料となります。（但し、駐車料金は必要です。）

## 2. いこいの森エリアの概要①

### 1. いこいの森エリアの特徴

○7つのため池と広大な樹林地で形成されるいこいの森は、国営備北丘陵公園内で最も起伏に富んだ地形を有し、豊かな自然環境が残るエリアです。

○いこいの森エリアでは、この自然環境を活用した自然観察会、木登り体験、ウォーキング体験など、まさに自然と触れあい、自然に親しみながら、自然を学んでいける場を提供するとともに、里山管理体験などを活用した自然環境の保全に取り組んでいきます。

○自然環境の活用を主体とする、今までの開園区域には無かった機能の拡充を図ることで、中国地方におけるレクリエーション拠点として、より多様なニーズに対応できる公園を目指します。

### 2. いこいの森エリアの整備概要

項目	整備概要	備考
エリア面積	109.3ha	内ため池4.5ha
広場面積	1,440m <sup>2</sup>	いこいの森広場
駐車場	99台(普通車)	第7駐車場
散策路	3.9km	舗装箇所含む
自動車園路	0.9km	
修景植栽	450本	コバノミツバツツジ
トイレ	1箇所	
カブトムシドーム	1箇所	

### 3. カブトムシドームの概要

○いこいの森エリアに巨大な虫かごのドームが登場！！

○縦24m、横13.5m、最大高さは約9mにもなる半円型のカブトムシドーム。

○現在約2,500匹程度のカブトムシの幼虫を育てており、この夏には沢山のカブトムシやクワガタムシに触れあい、遊び、学ぶことができます。

○また、ドーム内にはクヌギやコナラなどの樹林を残しており、自然の中での触れ合いを楽しむことができます。

カブトムシドームイメージスケッチ



※カブトムシドームの虫たちは、園内の間伐材を活用して育てています。公園内にある樹木を間伐しチップ化したものを園内に置くと、カブトムシなどのムシたちが卵を産み付けます。その卵を孵化させたものを育て、それを繰り返すことにより、より多くのムシ達が育ってゆきます。自然との共生により育まれている生き物です。

## 2. いこいの森エリアの概要②

### 4. 展開する体験メニュー

〇いこいの森エリアでは、豊かな自然環境を活用した以下の体験イベントや自然観察会などをはじめ、利用者の方々のニーズを把握しながら、様々な行催事を展開していきます。

#### ◆自然環境学習会

園内に生息するオオムラサキやカブトムシなどの生き物を活用し、自然を学ぶことのできる学習会。



#### ◆ウォーキング体験

マイナスイオンを浴びながら、緑のトンネルをウォーキング。専用ポールを持って歩くノルディックウォーキングも開催。



#### ◆木登り体験

専用のロープや安全帯を使って木に登ったり遊んだり。木の上から眺めると違う世界が広がります。木や森、自然と一体になれるアクティビティー。



#### ◆里山のめぐみ体験

山野草やきのこ・どんぐり…。園内に自生する食べられる食材を、見て、触って、学んで、そして食べる。里山を楽しみながら、その恵みに感謝する体験。



#### ◆森のクラフト教室

園内の間伐材や木の実などを使って、自然素材のオリジナルクラフトを作成。



#### ◆里山管理体験

樹木の枝打ちや間伐・下草刈りなど、里山管理の活動を体験しながら、里山の大切さを学習。



### 5. いこいの森エリアの利用方法

〇いこいの森エリアでは、自然と触れあい、自然に親しみ、自然を学ぶこと、そして自然環境を保全するため、あえてありのままの自然を残しています。

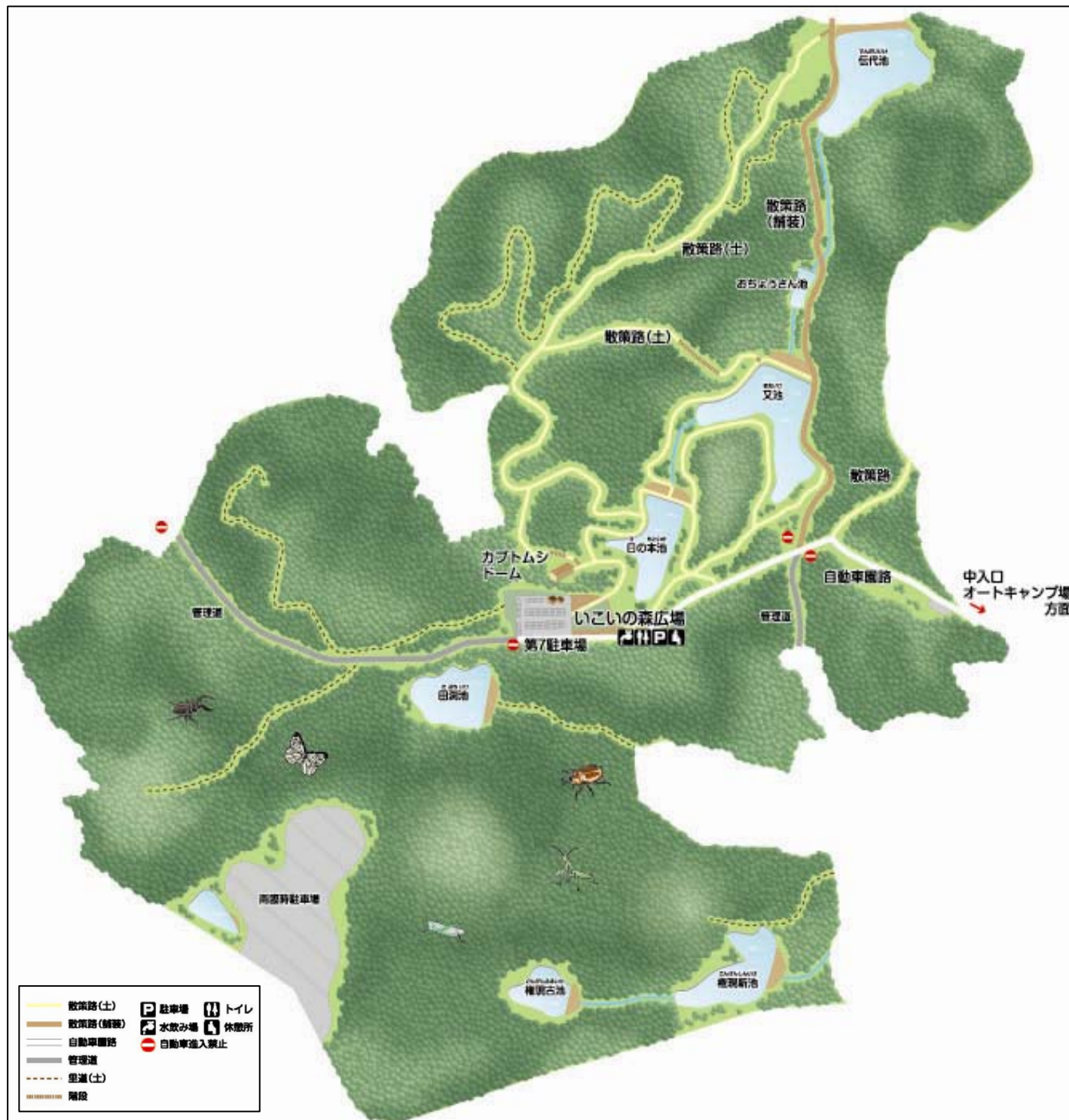
〇自然の中にはスズメバチやマムシ、ウルシなど多くの潜在的危険が潜んでおり、利用される方の安全に配慮するとともに、正しい知識を持って自然に触れあうことができるよう、スタッフ付きの入園としています。

〇開園後、夏休みまでは週末を主体に開催するイベントでの利用となりますが、夏休み以降（7月21日から開始予定）についてはスタッフ付きで毎日入園となります。

〇カブトムシドーム公開予定期間（7月1日～8月5日）も、カブトムシドームへは毎日入園可能となる予定です。

## 2. いこいの森エリアの概要③

いこいの森概要図



### 3. 国営備北丘陵公園整備事業の概要

○国営備北丘陵公園は、中国地方のほぼ中央に位置し、広島県内最大のため池である国兼池と緑豊かな丘陵地を計画地とする全国で11番目、中国地方で唯一の国営公園として、昭和57年に事業化されました。

○「ふるさと・遊び」を基本テーマに、周辺環境との調和と連携を図り、森と湖に囲まれた豊かな自然の中で、中国地方の歴史や伝統文化とのふれあい及び多様なレクリエーションズ活動を通じて、人間性の回復と向上の場となる公園とするため、以下の4つの基本理念と5つの基本方針により整備を行っています。

#### 基本テーマ『ふるさと・遊び』

##### 【基本理念】

基本テーマのもと、公園整備の基本理念として以下の4項目を定めている

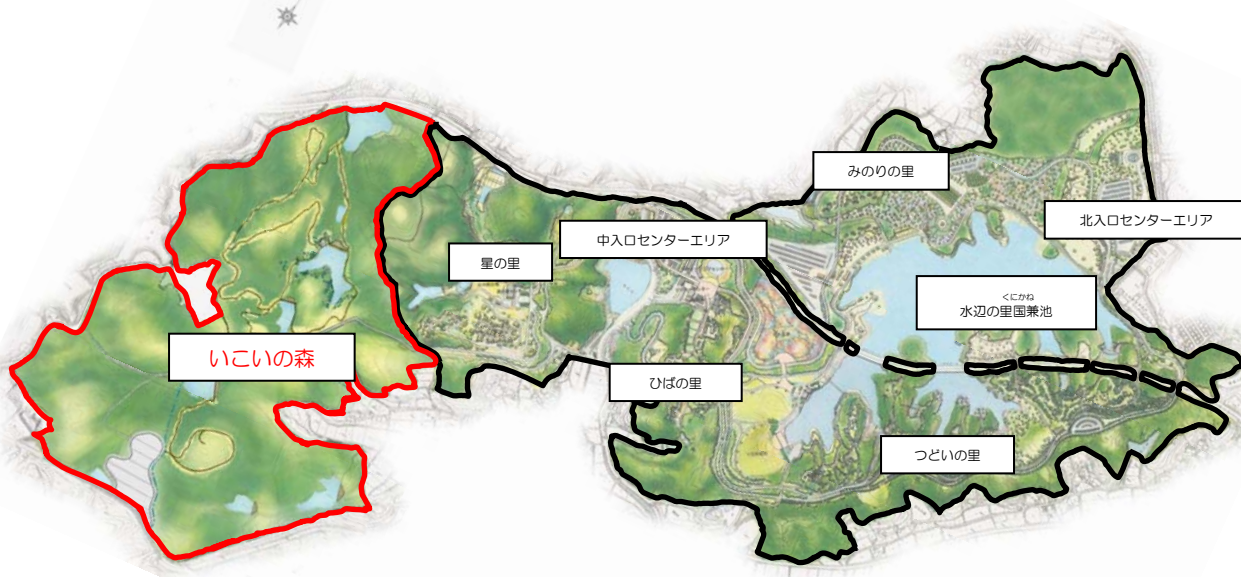
- ◆緑豊かな自然へのいざない
- ◆中国地方の歴史や文化とのふれあい
- ◆多様なレクリエーションへのしたしみ
- ◆周辺環境とのつながり



##### 【基本方針】

基本理念をより具体的なものとするために、公園整備の基本方針として以下の5項目を定めている

- ◆国兼池を中心とした湖畔景観や丘陵景観等の自然をいかした公園
- ◆中国地方の古い文化の伝承や、新しい文化をはぐくむことのできる公園
- ◆四季にわたる多様なレクリエーションに対応できる公園
- ◆中国地方の全域から利用できる公園
- ◆地域とのふれあいのできる公園

#### 全体概要図



	既開園区域
	今回開園区域

# 4. 国営備北丘陵公園整備事業の経緯

○昭和54年度～55年度にかけて、中国地方で最初の国営公園となる適地について調査・検討を行ない、昭和56年度に広島県庄原市に選定されました。

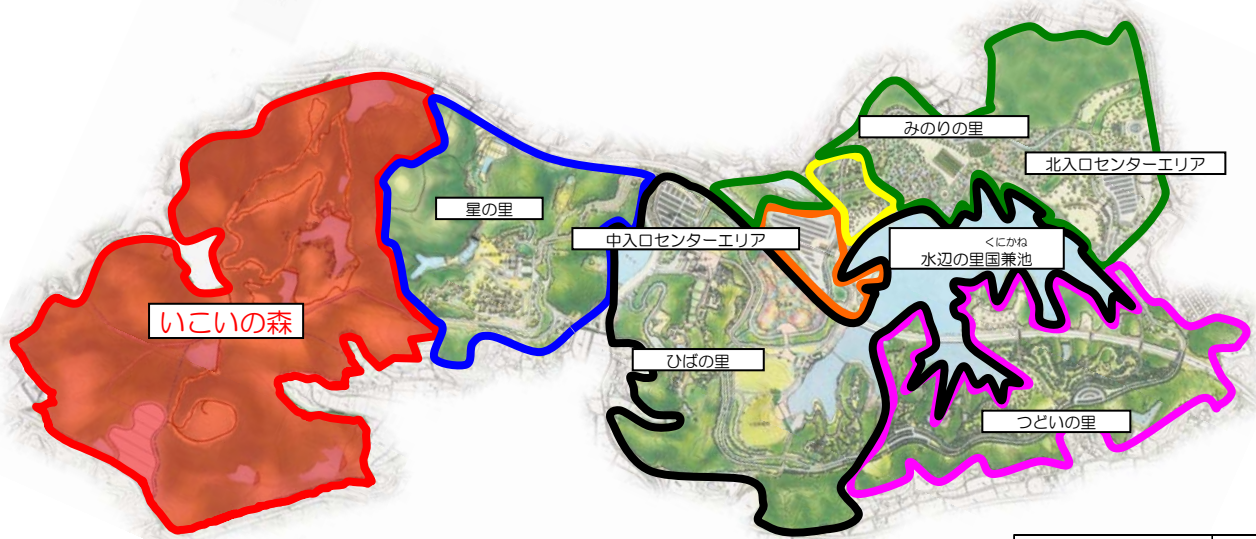
○昭和57年度から事業着手を行い、昭和60年1月31日に都市計画決定を告示、平成3年度より当初開園に向けて本格的工事に着手しました。

○平成7年4月14日に、ひばの里・中入口センターエリア等80haを最初が開園し、その後平成11年6月26日に星の里（備北オートビレッジ）46.5ha、平成15年4月12日につどいの里49.1ha、平成20年4月26日に北入口センターエリア・みのりの里43.3ha等順次追加開園を行い、現在開園面積の約7割にあたる229.5haを開園しています。

○平成24年4月21日のいこいの森109.3haの開園により、国営備北丘陵公園は全園開園となります。

年月日	主な事業の経緯
昭和57年(1982年) 4月 1日	事業着手
昭和60年(1985年) 1月31日	都市計画決定告示
平成 3年(1991年)10月22日	起工式（本格的工事着工）
平成 7年(1995年) 4月14日	ひばの里・中入口センターエリア等開園（80ha）
平成10年(1998年) 5月10日	入園者累計100万人達成
平成11年(1999年) 6月26日	星の里（備北オートビレッジ）開園（46.5ha）
平成14年(2002年) 7月 1日	第2駐車場供用開始（3.2ha）
平成15年(2003年) 4月12日	つどいの里開園（49.1ha）
平成19年(2007年) 7月27日	備北公園管理センター完成
平成20年(2008年) 4月26日	北入口センターエリア・みのりの里開園（43.3ha）
平成20年(2008年) 7月27日	入園者累計500万人達成
平成22年(2010年) 4月 1日	みのりの里開園（7.4ha）
平成24年(2012年) 4月21日	いこいの森開園（109.3ha）【全園開園】

開園区域図



H 7. 4. 14	開園	黒
H11. 6. 26	開園	青
H14. 7. 1	開園	黄
H15. 4. 12	開園	紫
H20. 4. 26	開園	緑
H22. 4. 1	開園	黄
H24. 4. 21	開園	赤

## 5. 国営備北丘陵公園の利用状況

○国営備北丘陵公園では、年間を通じて多様なニーズに対応した様々なイベントを開催しています。

○春にはスイセンやチューリップなどの花修景をメインとした約100万本の花々による春まつり、夏には県外からも多数の来園がある野外コンサート、秋には約150万本のコスモスが咲き誇る秋まつり、冬には夜空を優しく包み込むウインターイルミネーションなど、四季折々の風景が楽しめる行催事を展開しています。

○また、中国地方でかつて行われていた古代たたら鉄づくりの再現やさとやま文化を再現するわら細工体験など、さとやま環境で育まれた豊かな歴史や伝統文化の保存・継承に努めるとともに、園内のビオトープを活用した観察会など、自然環境学習にも積極的に取り組んでいます。

○これら様々な行催事の展開などにより、現在は年間約50万人、平成22年度末で累計約630万人に達するなど、中国地方におけるレクリエーション施設の拠点として多くの方々に利用されています。

### 公園の四季の風景



### 入園者数の推移

